

第5回 光駅拠点整備デザイン会議 会議録

日時：令和2年8月21日（金）18：30～19：15

場所：あいぱーく光 いきいきホール

【出席者】

- ・委員：7人（欠席6人）
- ・アドバイザー：1人（欠席1人）
- ・オブザーバー：3人（代理出席1人）
- ・事務局：7人、ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社：2人

1 開会

● 事務局

- 交代委員紹介
- 会議資料の確認

2 会長あいさつ

皆さん、こんばんは。4月15日に予定されていた第4回デザイン会議は、書面での開催となり、各委員から出された意見に対して、市としての考えが示された。これが、結果報告としての1つのとりまとめになったと思っている。そのような中で、第5回目のデザイン会議を開催するが、概ねの意見は集約できているように思っているため、本日が最終回になるのではと思っている。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

3 議題

（1）基本的な方向性について

● 会長

議題（1）光駅拠点整備基本計画（案）について、事務局より説明をお願いしたい。

● 事務局

<事務局より光駅拠点整備基本計画（案）について説明>

● 会長

ただいま、事務局から、光駅拠点整備基本計画（案）について、説明があった。これに関して、ご意見・ご質問などあれば、お願いしたい。

● 委員

これまで、この会議に参加し、良いものができるであろうと思っていた。現在の光駅はエレベーターがなく、階段の昇降がとても多い。また、北口では夕方から自転車を停めている高校生の利用が多い反面、夕方以降は暗くなり防犯面を考えても利用しづらいと感じていた。

子どもを育てる親としては、これからこの計画のもと駅が整備されて光駅に安心して帰って来られる場所になるように、ぜひスピード感を持って進めてもらいたいと思う。

● 事務局

大変心強い意見をいただきありがたい。今後のスケジュールについては、市としては、本計画に基づいて、スピード感をもって進めていきたいと考えているので、皆様には引き続き

ご理解、ご協力をお願いしたい。

● 委員

整備の方向性として、「誰にも安全でわかりやすい安心環境づくり」ということが掲げられている。障害者団体の連絡会議の場では、視覚障害者の方から点字ブロックについてお話があった。例えば、駅のホームでは点字ブロックの場所が分からず転落する危険性を常に持って行動されているようで、点字ブロックや音声による案内などの充実をぜひお願いしたい。また、北口のトイレについては、トイレのために南北を移動しなければならないことは障害のある方にとっても大変だと思うので、ぜひ設置をお願いしたい。

● 委員

駅の近くに住む者としては、北口にトイレは整備されないと考えていた。せっかく整備を検討するのであれば、バリアフリー対応のトイレもぜひお願いしたい。基本計画の内容は安心して見る事ができた。整備を楽しみにしている。

● 委員

大まかな目安となっているが、令和9年度完成予定ということで、観光協会としては観光や賑わいにつながるように、種まきやコンテンツ・イベントの開催、新たなカルチャーの誘致、若い人材の育成・バトンタッチをしていくなど、新しい光駅を迎え入れたときに活躍する方がたくさん出るように準備をしていきたい。7年という期間を、計画をもってスピーディーに進めたいと思うので、ソフト面に関してはぜひお任せいただきたい。ハード面はぜひスピーディーに進めていただきたい。

● 会長

誰もが使いやすく、光駅に来るのを楽しみにできるような整備後の姿を楽しみにしている。どなたも使いやすいということを入れて進めていただきたい。

● 会長

それでは、意見も出尽くしたようなので、アドバイザーのお立場から一言、頂戴したい。

● アドバイザー

ここからが難しいところで、色々な事業調整をしていかないといけないし、財源確保を考えていかないといけない。モノを作るときは関係機関や関係者と調整していく必要があり、その中に行政だけでなく、主体的に市民が関わっていかないといけない。ソフト面はこれから作る事になっているが、まちの一人一人が主体として関わっていく意気込みが今回のような市民参加で醸成されてきたのではないか。ここまでワークショップや会議など市民参加で作ってきたので、ここからは案を市政に反映させ、市議会の承認を受けて実現に向けて動き出していくことになる。皆さんで協力していかないといけない。これからは、関係機関との調整に加えて、市民が参画して作っていくという意気込みを形にしていくということをお願いしたい。新型コロナウイルスのような予期せぬ出来事が起きてもストップさせない、停滞させない動きが必要になると思うので、市民が協力しながら、市民が作りあげたまちとなってほしい。

● 会長

なお、本日もご欠席されている、アドバイザーより、コメントを頂いているとのことなので、事務局よりご紹介をお願いしたい。

● 事務局

アドバイザーより、事前にお伺いした際にいただいた、ご助言、ご講評をご紹介させていただきます。

まず、「本基本計画の内容全般について、概ね良い、これで進めていただきたい。」とのことである。また、「基本計画策定後のステップ、設計段階以降の検討事項として、南口の居住人口の増加対策を検討することや、交流広場の使い方を想定した上で、どのような施設が必要なのかを検討すること、北口駅前広場における、滞留空間の確保や公衆トイレ、自販機コーナーの設置といった、機能の配置を検討すること、さらに、これからのまちづくりの主体となる人材を育成すること」などについて、ご助言をいただいた。

● 会長

本会議としては本計画（案）に対する意見等をこの程度とし、今後は本会議の意見を踏まえた対応を事務局に委ねていくことにしたいが、いかがか。

（一同異議なし）

それでは、以上で議事は終了する。

おそらく、本日が最終の会議になろうかと思っている。これまで委員の皆様方には、積極的なご発言や、進行へのご協力をいただきお礼申し上げます。

4 その他

● 事務局

本基本計画（案）については、今後、市議会での議決をいただきたいと考えている。市議会の議決の後には、本基本計画をもとに、調査・測量・基本設計、都市計画手続きなどの関連する手続き、実施設計・工事といった順に、着実にステップを踏んでいく予定である。まだ、形になるまでには今しばらくのお時間をいただくが、皆様方には、末永く本拠点整備を見守っていただきたい。

5 閉会

● 事務局

委員の皆様には、昨年から、およそ1年間、本当にお世話になった。おかげさまで、基本計画（案）を作り上げることができた。まずは、皆様方に厚くお礼申し上げます。

昨年の第1回目の会議において、市長があいさつの中で、10年後の未来人になって、現在を振り返り、課題を見つけ、今すべきことは何なのかを考える、という話をされた。この会議では、光駅周辺はどのような空間になるとよいのか、そのためにはどのような整備をすべきなのか、といったことに関して、皆様から様々な視点での、多くの貴重なご意見、ご提言をいただいた。そうした一つ一つを真摯に受け止めながらも、全てが計画（案）に反映できた訳ではないが、市として光駅の10年後、もっと先の将来のあるべき姿を展望して、計画（案）をとりまとめたところである。今後、市議会の議決をいただいて基本計画の策定ということになるが、先ほど多くの皆様から、市の政策を後押しする力強いご意見をいただいた。これから、市民の皆様や光駅を利用される多くの方々が、安全に安心して、しかも便利に利用できる光駅を早期に実現できるよう、市民の皆様方と力を合わせ、取り組んでまいりたい。

最後になるが、橋本会長、足立副会長、委員、アドバイザー、オブザーバーの皆様、改

めて、お礼申し上げ、あいさつとさせていただきます。

● **事務局**

本日の会議を終了する。